地域情報誌　2023年４月号　第156号

みんなの和で　元気な暮らし
未来につなぐ　里山おばら

おばらだより

桜バス 予約はこちら ☎65-3131

今月の表紙　小原中学校 第76回 卒業式

小原中学校で3月7日、17人の卒業生が保護者・在校生たちに見守られながら巣立ちの日を迎えました。

入学以来3年間、新型コロナの影響を受けてきた世代ですが、卒業式ではマスクを外して一人ずつ登壇し、晴れやかな表情を見せながら卒業証書を受け取りました。

後藤校長は、制限の多い3年間を乗り越えた卒業生を「個性を尊重しながら仲間と支えあい、感謝の気持ちを忘れない学年だった」とたたえ、「これからは学ぶことの連続、その中で自分を磨くことを忘れないでほしい」と言葉を贈りました。

卒業生代表の生徒は、コロナ禍で試行錯誤しながら過ごした日々を振り返り、支えてくれたすべての人に感謝の言葉を述べ、「たくさんの力を信じて歩んでいく」と決意を述べました。

Data

人　口	3,266人（＋7）
男性	1,588人　（＋5）
女性	1,678人　（＋2）
世帯数	1,466世帯（＋3）
令和4年度出生者数	2人

3月1日現在（　）内前月比

Pick Up

2 R5年度 自治区長の紹介
3 とよた衣の里プロジェクト

ゴールデンウイークのお知らせ

おばらだより5月号は、縮小版でお届けいたします。

※おばらだよりは豊田市ホームページからも見ることが出来ます。　http://www.city.toyota.aichi.jp/

豊田市役所小原支所　〒470-0592 豊田市小原町上平 441-1
Tel:0565-65-2001　Fax:0565-65-3695　E-mail:obara-shisho@city.toyota.aichi.jp

令和５年度　自治区長の皆さんを紹介します

自治区長の皆さんには、それぞれの地域の代表として、より良い地域づくりのために、自治区内の意見・要望のとりまとめや、コミュニティ活動、市との連絡調整などを行っていただきます。

藤本　幸孝（小原西）　春日井　伸壽（上仁木）　水野　正夫（旭）　大野　雄治（高原）　杉田　學（小原東）　安藤　寿（栄）　加藤　博隆（大草）　児嶋　美幸（城東）

【自主防災会連絡協議会役員】大嶋　貢（道慈）

【会　長】鈴木　雅和（小原中）

【副会長】加藤　章（大平）

【書記会計】春日井　義行（矢作）

敬称略

駐在所だより

大坂駐在所管内でお子さんへの

「声かけ事案」が発生

2月18日（土）正午頃、小原町地内の歩道を通行中のお子さんが、見知らぬ男に「お姉ちゃん、何歳？」と声を掛けられる「声かけ事案」が発生しました。

不審者に声をかけられたときは大声を出して助けを求めるとともに、「こども110番の家」など安全な場所へ避難して、110番通報してください。

連絡は 35-0110（豊田警察署）へ
駐在所へつないでもらえます

第2回小原フォトコンテストの入賞者が決まりました！

【小原四季桜】部門　最優秀賞
安藤 秀美さん（恵那市）の作品

ご応募いただきました皆様、本当にありがとうございました。入賞作品は、5月31日（水）まで小原観光協会事務室に展示していますので、是非ご覧ください。

【問合せ】
小原観光協会 ☎65-3808

5月1日（月）、2日（火）はマイナンバーカードに係る一部の手続ができません

地方公共団体情報システム機構における公的個人認証システムの更改作業のため、5月1日（月）、2日（火）は、マイナンバーカードに係る一部の手続ができなくなります。

◆できない手続
①電子証明書の発行、更新
②暗証番号の初期化（ロック解除）
③券面記載事項変更、継続利用（氏名、住所などの変更）

◆本庁でのみできる手続（※）
①交付（受取）
②申請（申請書の受付、顔写真の撮影等）
③有効期限変更（在留期限のある外国人が対象）
④一時停止解除

※マイナンバーカード交付窓口（市役所東庁舎5階）でのみ手続できます。小原支所ではできません。

【問合せ】市民課 ☎34-6773

小原町で桑畑を整備

250本を植樹

新しい小原を発見！ とよた衣の里プロジェクト

養蚕の伝統産業を次世代に継承

養蚕の伝統産業を継承することを目指した団体「とよた衣の里プロジェクト」(代表 大林優子さん)が3月18日、小原町の畑に桑の苗を植樹しました。

この団体は3年前から繭の生産に取り組んでおり、将来的には年間100kg以上の繭の生産を目指しています。

植樹が行われたのは、かつて桑畑だった場所で、この日は、およそ1200㎡の土地に250本の桑の苗木が、ボランティアを含むおよそ30名の手で、丁寧に植えられました。

小原をプロジェクトの拠点に選定した理由について、養蚕家で副代表の都築浩一さんは、「プロジェクトに関わる人物が偶然にも小原という共通点でつながっており、不思議な縁を感じている。私の母親と妻も、偶然ですが小原出身です。」と、笑って話してくれました。また、「今後は養蚕を通じて小原の発展に貢献するためにも、地域性を大切にしていきたい。」とも話してくれました。

▶植樹のイベントに集まった人たち

▲養蚕家で副代表の都築浩一さん

卒業記念の四季桜

小原中学校

小原中学校で3月2日、校内で育てた四季桜の苗木を卒業記念で持ち帰るイベントが行われました。

この苗木は、卒業生が一年生の時に、自分たちで挿し木したものです。挿し木は当時5センチの枝でしたが、3年間丹精込めて育て、2メートル程にまで成長しました。

一部の苗木は、東日本大震災の記憶をつなぐ岩手県のNPO法人「桜ライン311」に寄贈されるということで、寄書きを添えた箱に卒業生たちの手で丁寧に梱包されました。

これからも一緒に成長

▲四季桜の苗木を丁寧に取扱う生徒たち

大草子育て支援センターからのお知らせ

☆5月のイベント☆

○25日(木)
親子ピカピカ歯磨き教室
10:30～11:30(要予約)

※自宅で検温してから出かけましょう。
※水分補給は各自でお願いします。

【園庭・室内開放】(予約の必要はありません)
平　日:午前9時～正午、午後1時～5時
※行事等で室内の利用ができない場合があります。
詳しくはこども園にお問い合わせください。

【問合せ】大草こども園　☎65－2045

小原福祉センター ふくしの里からのお知らせ

いきいき教室へ出かけよう！！

お料理を楽しもう♪

ふくしの里巡回バスも運行！

物づくりに挑戦しよう！

参加費1人300円

ボランティアの皆さんの協力で毎月９回開催中♪
豊田市にお住いの方はどなたでも参加できます。
ふくしの里巡回バスを利用して遊びに来て下さい。

【問合せ】小原福祉センター　ふくしの里
☎65-3350

令和５年度は１８団体が活動申請

わくわく事業審査会を開催

3月4日(土)、小原交流館を会場に令和5年度わくわく事業審査会が開催されました。

令和5年度から制度の一部が変更となり、地域会議委員による審査から、わくわく事業団体と支所職員による審査になりました。

審査会では18の申請団体(新規5団体、継続13団体)に対するヒアリング審査が行われ、結果、全ての事業が採択されました。

わくわく事業は、地域の資源を活用して、「地域課題の解決」や「地域の活性化」に取り組んでいる団体の事業を支援する制度です。詳しくは市役所小原支所地域振興担当までお問合せください。

【問合せ】小原支所 ☎65-2001

【申請団体】

①チャレンジ大平(ふるさと大平再生部会)
②チャレンジ大平(巫女舞部会) ※新規
③小原ソフトテニス連盟
④花郷わくわく宮代
⑤本城小学校区発展会
⑥小原ガイドボランティア
⑦オバラ＜あかりの華＞プロジェクト
⑧やはぎ里山未来プロジェクト
⑨やはぎ里山婚活プロジェクト
⑩織り姫クラブ
⑪里山　和
⑫大洞町四季桜を守る会
⑬小原4楽夢
⑭小原宴火
⑮oyatoco ※新規
⑯小原観光景観発展会 ※新規
⑰矢作自治区水辺愛護会 ※新規
⑱おばらまちづくり応援団 ※新規

小原歌舞伎保存会
カブキのお面づくり体験

２月２６日、豊田市民文化会館（小坂町）で「おいでんアート体験フェア！アートでピース」が開催され、小原歌舞伎保存会が「カブキのお面づくり」のワークショップを行いました。

ブースでは、事前予約と当日受付を合わせて３９組・６０名がお面づくりにチャレンジし、保存会で準備したお面がすべてなくなるほどの大盛況となりました。

母親と体験に訪れた子どもは「歌舞伎は難しいイメージだけれど、お面づくりはとても楽しい」と話してくれ、母親は「娘はぬり絵が大好き。好きなものを通じて、歌舞伎を身近に感じてくれたのでは」と話してくれました。

国などの困りごと相談

豊田市では、国などの仕事に対する要望・意見について、行政相談委員による相談窓口を設置しています。豊田市役所小原支所でも出張窓口が開催されますので、ご活用ください。

◇日　時…5月17日(水) 午後1時半から3時半
◇場　所…小原支所 2階会議室
◇対　象…市内在住在勤の方
◇申　込…事前の予約は必要ありません

相談は無料で秘密厳守。録音録画はご遠慮ください。

【問合せ】 市民相談課　☎34-6626

ようこそ！おばらっこ

蒼羽（あおば）くん
令和５年３月４日生
永太郎町

元気にすくすくと成長してね！

小原支所人事異動のお知らせ

お世話になりました

加納　良宣	副支所長	高齢福祉課へ
柴田　裕介	主　査	人事課へ
長江　洋一	主　査	退職(会計年度任用職員として継続)

よろしくお願いします

林　　行宏	副主幹	消費生活センターから
藤村　優未	主　査	人事課から

小原交流館だより

豊田市小原交流館
小原地区コミュニテイ会議
豊田市永太郎町落 681－1
TEL /0565-65-3711
FAX /0565-65-1189
http://ph-toyota.jp/guide/obara/

交流館講座案内

あじさいコンサート ＆ プチマルシェ

【日　程】6 月 24 日(土)
【ところ】小原交流館ホール・ロビー(マルシェ)
【内　容】16:00～18:00 飲食・小物等の販売、ワークショップ
18:00～19:30『ラスティバーミンツ』による演奏
【申込み】5 月 14 日(日)より先着 200 人
※詳細は後日配布するチラシをご覧ください。
※新型コロナウイルスの感染状況により、講座の内容等変更になる場合があります。

ラスティバーミンツの皆さん

曲目紹介
♪「軽トラあんどん」あかりの華
♪古き仲間よ
♪この里は小原の里
♪いつでも誰かが
平成狸合戦ぽんぽこエンディング
他

歌舞伎伝承館事業案内

猿投台交流館でのロビー展示
体験講座『農村歌舞伎を楽しもう』

4 月 21 日(金)9：30～小原歌舞伎保存会による講演と体験会が行われます。また 4 月 21 日まで、猿投台交流館ロビーでのパネル展も同時開催しています。
※体験講座は申し込みが必要です。
申込先　猿投台交流館 Tel:0565-45-2838

令和５年度 定期購読雑誌

趣味や生活に役立つ情報がいっぱい！

- オレンジページ（月２刊）
- 日経マネー（月刊）
- 日経 TRENDY（月刊）
- Newton（ニュートン）（月刊）
- こどものとも（月刊）
- 天然生活（月刊）
- 東海じゃらん（隔月）
- 日経ヘルス（隔月）

令和５年度 職員紹介

●交流館職員

館　　長　川上 和美
主任主事　大野 智代(崇化館交流館より)
主　　事　山口 奈津美
　　勝上 美智子
　　林　 美幸（藤岡交流館より）
　　原　 雄一郎（新規採用）
臨時職員　梅村 隆志

～お世話になりました～

館　　長　竹田 康孝(井郷交流館へ)
主　　事　小島美佐江(足助交流館へ)
臨時職員　藤本 和夫(退職)

●夜間職員

井木 正利
山内 光夫
鈴木 雅和
二村 義金
山内 広明(新規)
杉田 邦彦(退職)
山内 文彦

キャッシュレス決済スタート

令和５年４月１日から、交流館の部屋使用料の支払い方法について、キャッシュレス決済が選べるようになりました。
◎クレジットカード、交通系電子マネー、コード決済の３種類
※それぞれの使用可能なブランドについては、窓口でご相談ください。
◎利用当日のお支払いに限ります
※事前払いは現金のみとさせていただきます。
ぜひ、ご活用ください。

和紙のふるさと通信

http://www.washinofurusato.jp

豊田市永太郎町洞 216-1
小原和紙美術館　TEL0565-65-2151
和紙工芸体験館　TEL0565-65-2953

とよしん育英財団　教育文化賞
春日井範之氏　受賞

とよしん育英財団から、教育や文化の発展に貢献した個人・団体に贈られる令和４年度教育文化賞を、春日井範之氏が受賞されました。

春日井範之氏は、約５０年にわたり自然をテーマに草花や風景などの作品を多く発表されてきました。豊田小原和紙の可能性を模索し続け、新しい技法を開発し、表現の幅を広げることに力をそそいで来られました。和紙を漉き重ねる際に土を用いて凹凸をつけたり、うるし、パステル、アクリル絵の具などを取り入れたりと、新しいことに挑戦し成功されています。このようなことが評価され今回の受賞となりました。

今後もますますご活躍され、豊田小原和紙の普及活動に力を注いでいただきたいと思います。小原和紙のふるさとの近くに工房がありますので、是非一度訪ねてみて下さい。

春日井範之氏の作品

◆トピック◆

とよたの花あかり　―澄清の糸、恋衣の糸―

作品名　月あかり

谷瑞枝さん（西中山町）が和紙とうるし工房で漉いた和紙を使った作品を展示する「art & decoration」が、3 月 18 日（土）・19 日（日）に喜楽亭でありました。会場にはその他数名の作家による、豊田市の四季にまつわる絹の作品なども展示されました。

谷さんは、漉いた和紙の上に和紙を小さくちぎった約 2000 枚の花びらを散らしました。思い通りに行かなくて、何度もはがしてやり直したそうですが、月あかりにうっすら浮かぶ淡い色の桜の花びらが、うまく表現されていました。

新年度を迎えました。相変わらず With コロナですが、ずいぶん制約は緩和されました。まだ制約緩和から日が浅く、影響がはっきりわかりませんが、今年度はコロナ前にやっていたような事業は行っていけるものと期待しています。今までしばらく開催できなかったワークショップや、小原和紙のふるさとから飛び出してのイベントなども、徐々に増えてくると思います。開催が決まりましたら、和紙ふる通信やホームページなどでお知らせしていきます。みなさんのご参加をお待ちしております。